

RELATIVE LANDSCAPE 関景考

Correlation / Transitions

宇野 和幸 / 大友 一世 / 矢成 光生

2018年12月14日(金)~26日(水)

11:00~18:00 (最終日16:00まで) ※月曜、木曜休廊

◆オープニングレセプション: 12月15日(土)16:30~



互いにかかわり合うモノゴトを、その中において俯瞰するように眺め、知覚すること - 「関景」を考える。

2018年の暮れにギャラリー睦に集まった3作家は「風景」を描く作家たちである、と言い切っても良いだろう。その描かれる「風景」とは何なのか。

それらの画面には、表面的にはどこかの景色の断片のようなものは見えるし、実際にモチーフとする場所や構造物、情景などもそれぞれにあるのだろう。

しかし彼らは、その景色を描いているのではなく、そこにある要素や物事の成り立ちを、もっというとそれらの関わり合いの織り成す状態としての在り方を、その時々的情景として表出している。それらのある種の俯瞰的で固定的でない視線が、そのことを「風景」として創り出しているのだ。

それは「世界」である。

かかわりの中で常に遷移する状況の中にあるモノゴトの、一瞬の観測ではなく、関わりそのもの、遷移そのものという形のないものを描く。

私たちがその観測者となり得ないのは、私たち自身がその中に存在しているという解決しえない構造ゆえのことである。世界と隔離された傍観者にはなり得ないがごとく、モノゴトを俯瞰する視点というのは私たちの概念の中にしかあり得ない。

関係性の中に身を置き、その相関性を(積極的にしる消極的にしる)意志的に認識するその在り方が世界を創っている。そこに空間が、質が生まれ、それが世界を示し、そしてそれが「風景」なのだ。

量子的にかかわり合う状態(=セカイ)を読み解き、フウケイとして表現する(=意志的に存在する)作家たちの作品に、どのような「風景」を共有することが出来るだろう。

上: 大友一世 「parkball」 キャンバスに油彩 60.6cm×72cm 2017年

中: 宇野和幸 「Landscape of vestiges」 和紙にミクストメディア 95×185cm 2018年

下: 矢成光生 「城核006」 カシュー、油彩、木製パネル(2点組) 190×666mm 2018年



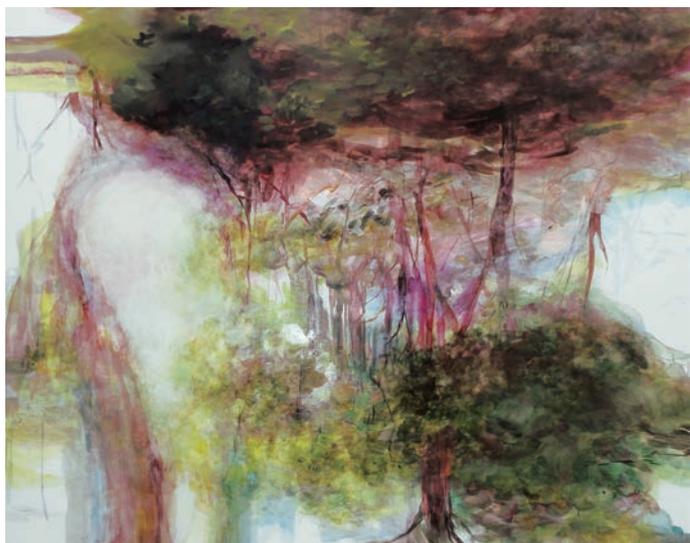
「Landscape of vestiges」 和紙にミクストメディア 155×215cm 2018年

宇野 和幸 / UNO Kazuyuki

1960年 千葉生まれ
東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程満期退学

〈近年の主な展覧会〉

- 2018年 「存在の触覚」(ヒルトン東京・ヒルトンピアアートスクエア 東京)
- 「U know they mean 2018 - 痕跡の寡黙/気配の饒舌 -」(Steps Gallery 東京)
- 「Art Cocktail 2018」(Steps Gallery 東京)
- 「芸術におけるメディア性と解釈の問題」(アートスペース嵯峨 京都)
- 「日韓藝術通信 part3」(アートスペース嵯峨 京都)
- 「思考する視線2018」(Art Space MEISEI 京都)
- 「デジタル版画展 - 版からの解放・版からの展開 -」(O美術館 東京)
- 2017年 「観光ART EXPO 2017 京都・縁・enishi-」(御寺泉涌寺・東本願寺涉成園 京都)
- 「New Art as Memory and Imagination」(Schema美術館 韓国)
- 「進化する版・変化する版 - デジタル版画展 -」(O美術館 東京)
- 「寛容な線たち」(ギャラリー睦 千葉)
- 「日中国際交流美術展・招待作家展」(千葉県立美術館 千葉)
- 2016年 「観光ART EXPO 2016 京都・新章・開眼」(御寺泉涌寺 京都)
- 「U know they mean 2016 - 線の文脈・面の行間 -」(Steps Gallery 東京)
- 「まなざしの系譜」(ギャラリー睦 千葉)
- 「韓日藝術通信 Art Communications」(アートスペース嵯峨 京都)
- 「思考する視線2016」(Art Space MEISEI 京都)
- 「世代を超えて二人展 宇野和幸+野中梓」(K's Gallery 東京)
- 「個展」(巷房 東京)



「highnoon」 パネルに油彩 130×160cm 2017年

大友 一世 / OHTOMO Kazuyo

1982年 京都府生まれ
2007年 京都嵯峨芸術大学(現 嵯峨美術大学)大学院 芸術研究科修了

〈個展〉

- 2017年 TOKI Art Space、東京('08、'10、'13、'15)
- 2017年 MATSUO MEGUMI+ VOICE GALLERY pfs/w、京都('11 '16 '15 '14)
- 2007年 Art STYLING Pepper's output Project、東京
- 2005年 ギャラリーはねうさぎ、京都('06)

〈グループ展、他〉

- 2018年 「いま そこにあるなにか」(フェアアートミュージアムヨコハマ 神奈川)
- 2016年 「藝文京展2016」(京都芸術センター 京都)
- 2015年 第30回ホルベインスカラシップ奨学生
- 2014年 「報美社15周年記念グループ展」(アートコンプレックスセンター 東京)
- 2014年 「京展」(京都市美術館 京都)
- 2014年 「Young Creators Selection 2014 Vol.1」(MI gallery 大阪)
- 2014年 「滲光態展」(東京都美術館 ギャラリーA・C 東京)
- 2014年 「CONSTELLATION 2014 - 星座の布置展 -」(上野の森美術館 東京)
- 2010年 「ピエンナーレうしく 第三回全国公募絵画展2010」(件久市中央生涯学習センター 茨城)
- 2009年 「相貫するまなざしII」(TOKI Art Space 東京)

HP <http://kazuyo-o.tumblr.com>



「城核 002」 カシュウ、油彩、木製パネル 920×1170mm 2015年

矢成 光生 / YANARI Mitsuo

1969年 愛知県生まれ
1997年 多摩美術大学大学院 博士前期課程美術研究科絵画専攻修了

〈最近の個展〉

- 2017年 「Something in The Air」(藍画廊 東京)
- 「美術展示ボランティア」(昭和大学病院 東京)'18
- 2014年 「atmosphere & gravity」(OギャラリーUP・S 東京)

〈最近のグループ展〉

- 2018年 第21回 岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館 神奈川)
- 多摩美術大学学生会神奈川支部展「BIRTHPLACE ART 2018 -Tama Art University in Kanagawa-」(FEI ART MUSEUM YOKOHAMA 神奈川)
- 三井不動産商業マネジメント・オフィス・エキスポ (浜町センタービル 東京)
- 2017年 「TAMA VIVANT II 2017 ポガティブ」(多摩美術大学展:アートテーク・ギャラリー、パルテノン多摩展:パルテノン多摩特別展示室 東京)

〈受賞歴〉

- 2018年 第21回 岡本太郎現代芸術賞展 入選

RELATIVE LANDSCAPE
Correlation / Transitions

宇野和幸 / 大友一世 / 矢成光生

2018年12月14日(金) ~ 26日(水)
11:00 ~ 18:00 (最終日16:00まで) ※月曜、木曜休廊



JR千葉駅・千葉公園口より徒歩10分。千葉市中央図書館裏(館内通抜け可)

〒260-0045
千葉県千葉市中央区弁天3-8-11
TEL/FAX : 043-287-2355
URL : gallery-mutsu.com
E-mail : info@gallery-mutsu.com

